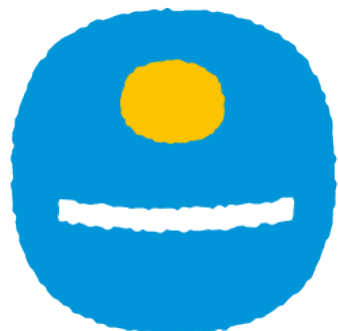


上山みらいの学校づくり 市民説明会



ひ
た
り
あ
ふ
れ
り
か
み
の
や
ま

上山市教育委員会

平成の検討結果①

少子化により、複式学級・小規模校が増加

H19.8月 上山市小・中学校将来構想検討委員会設置

統廃合ありきではなく、子ども達にとって最善の教育環境の検討開始

H20.3月 「上山市立小・中学校将来構想」答申

小規模校のデメリットを抜本的に解消することには限界があり、
これからの学校・学級規模のあり方と適正配置を検討する必要性
に迫られ、児童生徒の資質向上を目指す「魅力ある学校づくり」
のための「統廃合のあり方」等の答申をいただいた。

平成の検討結果②

H21.11月 小・中学校統廃合実施計画（案）策定

教育委員会で魅力ある学校づくりのため、中学校区単位での小・中学校統廃合案を示したものの。

本計画案に基づき、中学校区ごとに、統合検討委員会で検討

＜統廃合の変遷＞

H23.3月 中山小学校を南小学校に統合

H25.3月 本庄、東、宮生小を統合。宮川小学校 4 月新設

H27.3月 西郷第二小学校を南小学校に統合

R4.3月 西郷第一小学校を南小学校に統合



令和現在の検討①

人口減少加速、複式学級発生、デジタル・グローバル化

子ども達が生きる新時代・環境変化に対応し

上山市の小・中学校の 将来のあり方を示す

「**みらいの学校構想**」を策定するため

R6.8月「上山市みらいの学校構想検討委員会」設置



委員15人
保護者代表
地域関係者
学識経験者

令和現在の検討②

R 6 . 8 月 ～ R 7 . 8 月

■意見交換会

全23会場

■アンケート調査

市民・保護者・児童生徒・教職員



↓ 미래の学校へのご意見

■未来の学校構想検討委員会で協議 全5回

未来の学校構想 (案) を編集

本日の説明

検討委員会の最新協議内容

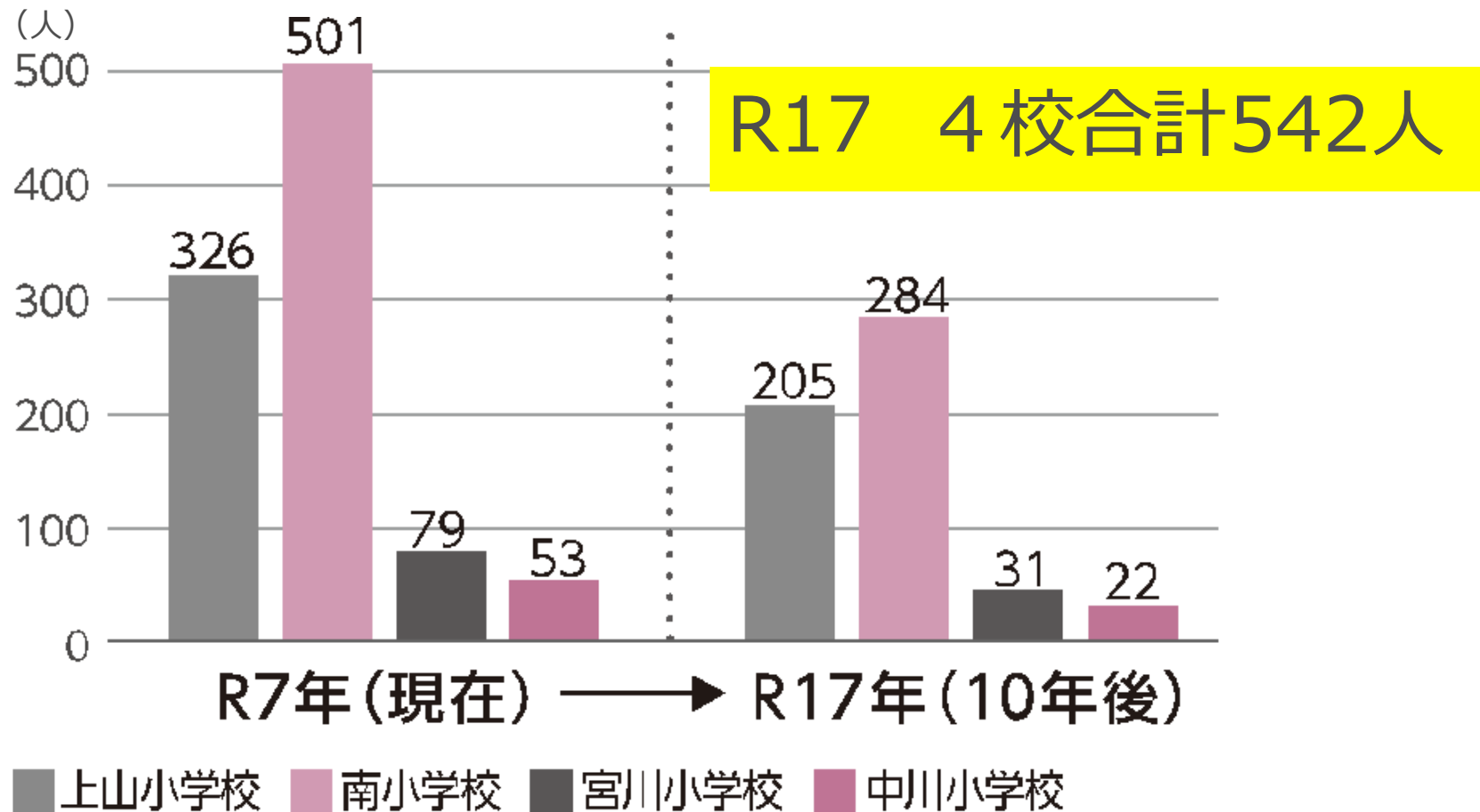
みらいの学校構想（案）

- 1 現状と将来予測
- 2 アンケート結果に基づく
望ましい教育・学校環境
- 3 実現方法「学校統廃合」



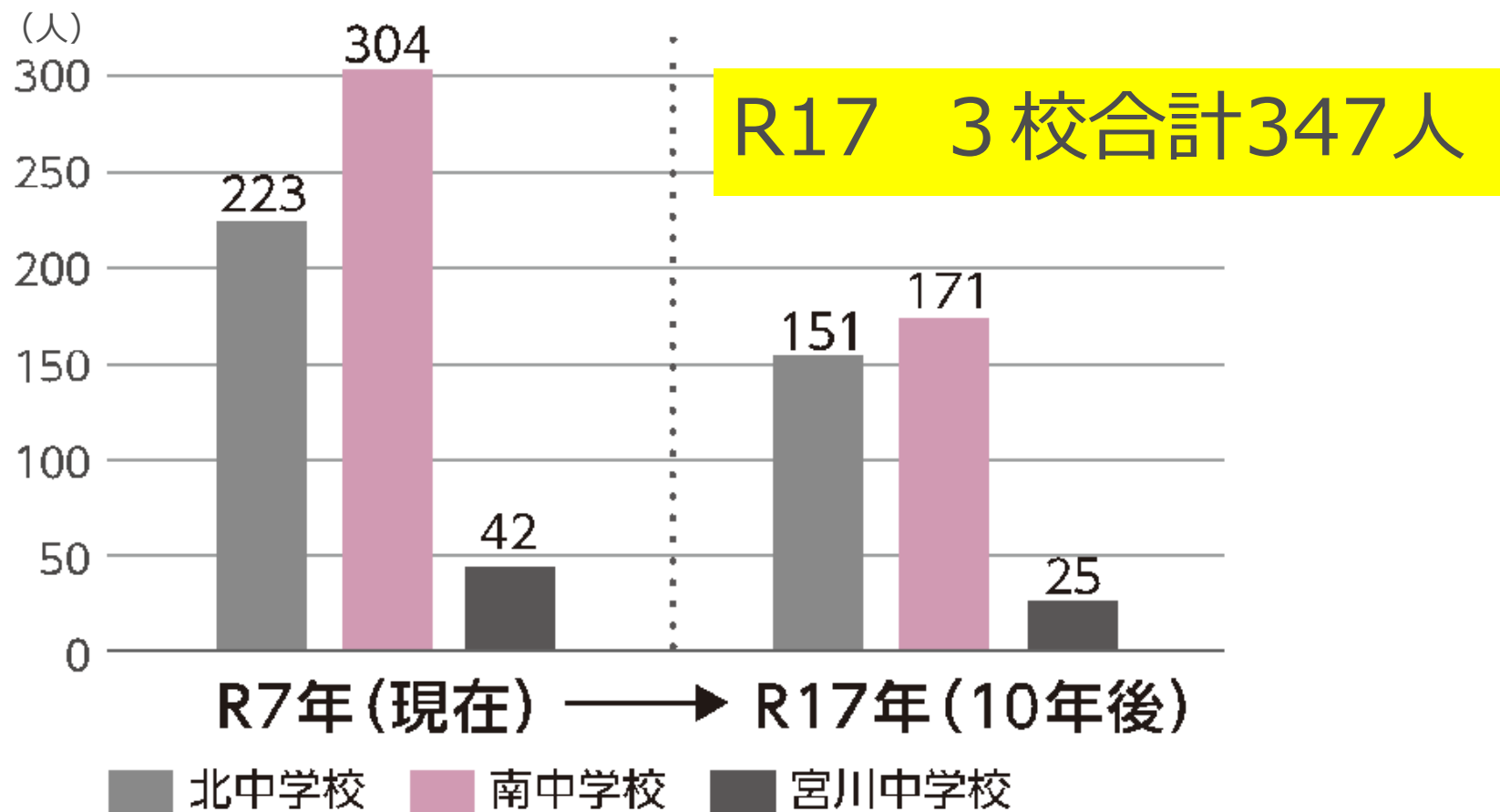
現状と将来予測

小学校 児童数の減少



10年後 各校とも約4～6割減少

中学校 生徒数の減少



10年後 各校とも約4～5割減少

小学校 学級数の減少

最大で半分以下に減少。複式学級が増加する見込み

	令和 7 年	令和1 7 年（1 0 年後）
上山小学校	1 3 学級	6 学級 半分以下に減少・各学年 1 学級
南小学校	1 7 学級	1 2 学級 約 7 割に減少・各学年 2 学級
宮川小学校	6 学級	4 学級 複式学級 2 つ 令和 1 3 年（6 年後）～
中川小学校	5 学級	3 学級 複式学級 3 つ 完全複式学級 令和 1 2 年（5 年後）～

中学校 学級数の減少

1 学年 3 学級未満 ▶ 教科毎の担任確保が困難に

	令和 7 年	令和1 7 年（1 0 年後）
北中学校	9 学級	5 学級 約半分に減少・各学年 1 ～ 2 学級
南中学校	10学級	6 学級 4 割減少・各学年 2 学級
宮川中学校	3 学級	3 学級・各学年 1 学級・学級人数減少

未就学児 出生数の減少

R 6 出生数 95人

R6.4月～ R7.4月

1つの学校なら …… 1学年 3クラス

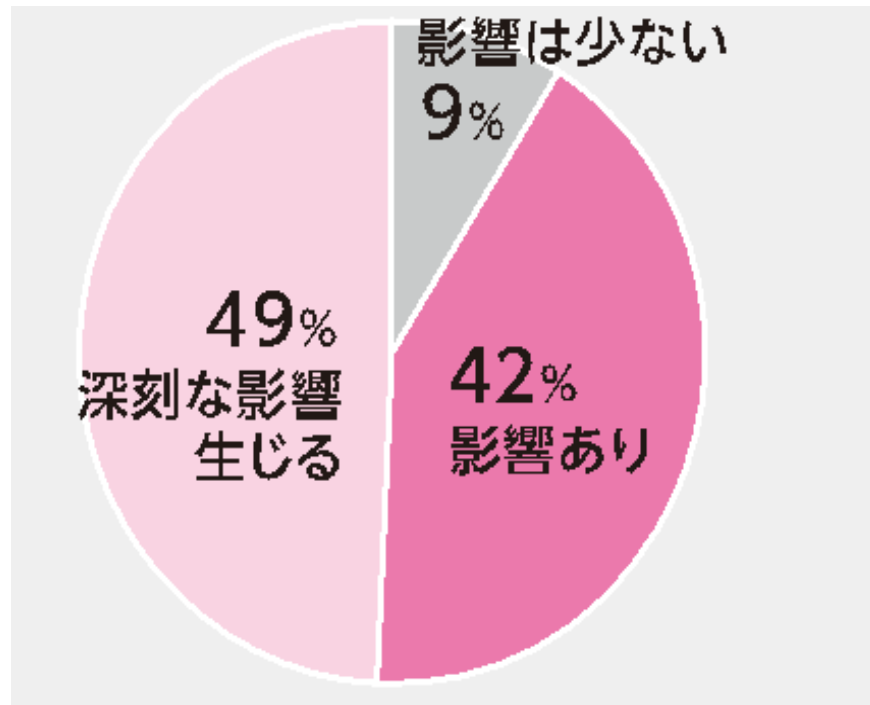
3つの中学校なら …… 教科担任の
確保困難



アンケート結果 望ましい 教育・学校環境

児童生徒・学級数 減少

回答者 9 割 ▶ 児童生徒に影響！
課題解決が必要！



望ましい教育内容 1

①豊かな人間形成



②学力向上・教育の質の確保

③学級数・児童生徒数の確保



④デジタル化・
グローバル化への対応



望ましい教育内容 2

⑤多様な考えや学びあえる機会

⑥誰一人とり残されない教育

⑦子どもの希望に応えられる
選択肢のある集団活動

⑧学校と地域との共創



望ましい学校環境

①安全・安心で
快適な学習環境

②デジタル活用能力を
育成できるICT環境

③多様な学びが
できる設備環境

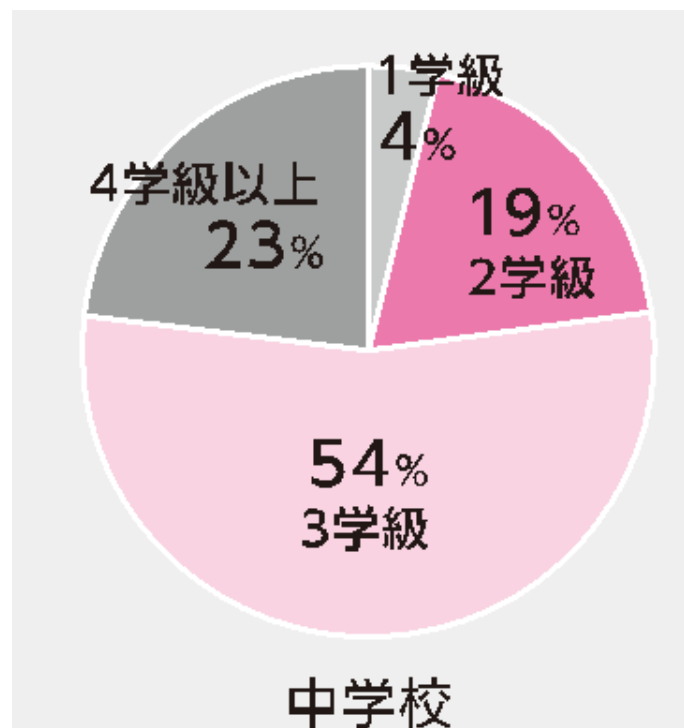
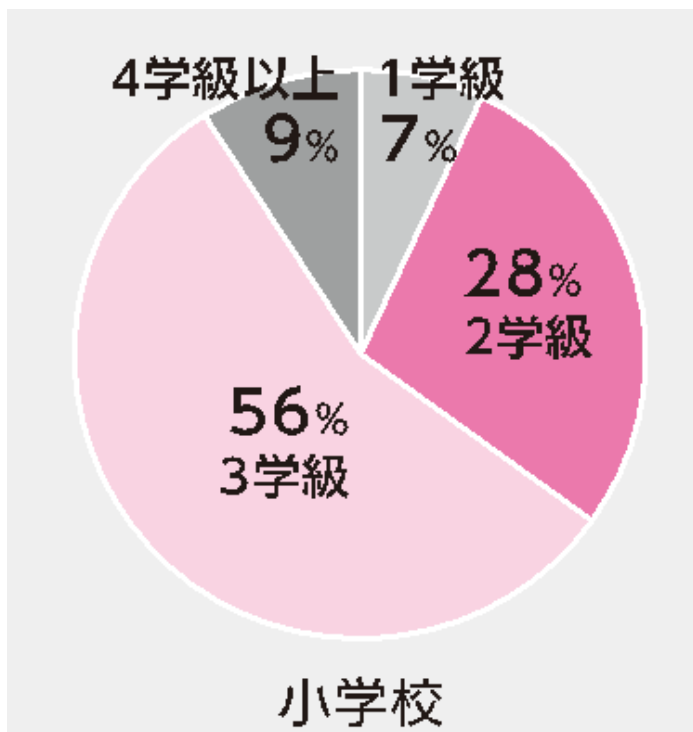
④人口規模に応じた持続可能な学校運営



出典：文部科学省「新しい時代の学びを実現する
学校施設のあり方について」最終報告

望ましい1つの学年の学級数

小中学校とも 3学級が過半数



3 学級を望む理由

・ 多様な人間関係による社会性の育成

人間関係の固定化回避、クラス替えの必要性、トラブル時の調整

・ 学校生活の質の向上

集団活動・友人関係の広がり▶子どもの多様なニーズ
競争意識 ▶ 学力・運動・文化面の向上



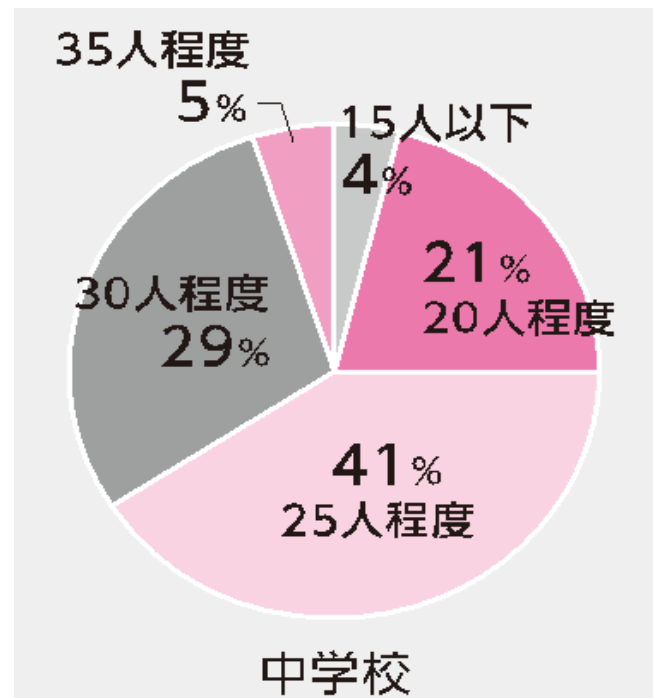
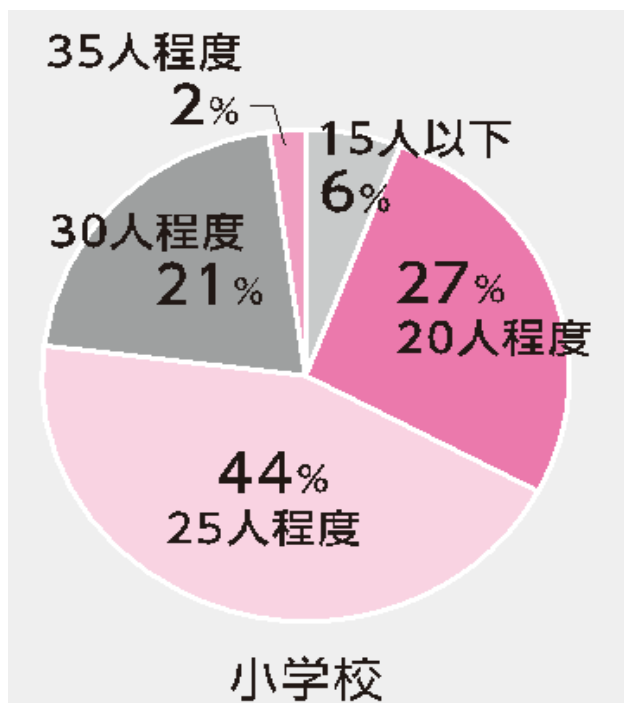
・ 教員確保による教育の質の向上

中学校の専門教員確保、一人ひとりに合わせた指導の実現



望ましい1学級あたりの児童生徒数

小中学校とも 25人程度 ▶ 最多
20人以上 ▶ 9割



25人程度を望む理由

- 教育の質の向上と個別支援への対応

多人数学級に比べ、教員が子ども一人ひとりに対応しやすい。

個々の学力や心理状態を把握して適切な指導が可能となる。

- ▶ 学力向上に向けた安心な学習環境

- 集団活動の充実による成長支援

- 多様な交流から生まれる

安心な学校生活と将来への準備

小中学校の統廃合に思うこと

回 答 者

9割 統合を望む

統合経験者

6割 統合して良かった

学校統合を望む理由

教育の質の向上

中学校の教科担任確保、小規模・複式学級解消



一定規模の集団確保

クラス替え 人間関係の固定化回避
進学・就職を見据えた社会性の育成

学校設備環境の充実

無駄のない財政運営、老朽化対策、ICT・防災・防犯設備の充実



みらいの学校構想検討委員会

望ましい教育・学校環境
実現手段

「学校統廃合」
(案)

総合的な観点

検討委員会の意見

子ども達に望ましい教育・学校環境を実現する手段

- ・ 学校統合は避けては通れない
- ・ スピード感を持って統合の検討を行う
- ・ 子どもに責任を持つ保護者意見を尊重

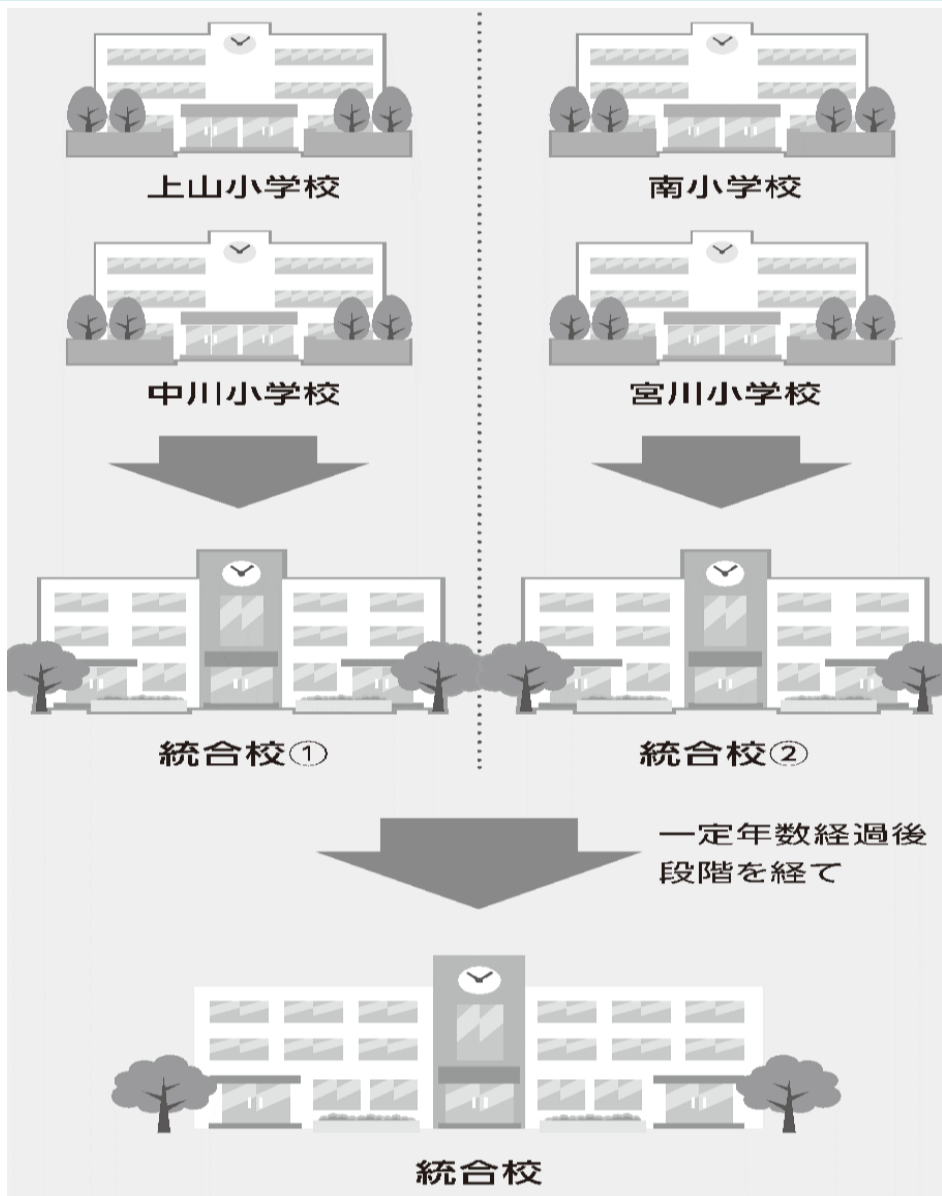
小学校 2 校 → 1 校案

特 徴

- ・ 一定年数、現在の校舎を利活用する。

検討委員会の意見

- ・ 将来的には 1 校だが、子ども達が環境に慣れるため段階的に 2 校統合も良いのではないかな。
- ・ 運営コスト削減のために、先ず 2 校統合を進め、その後 1 校に統合すれば良いのではないかな。



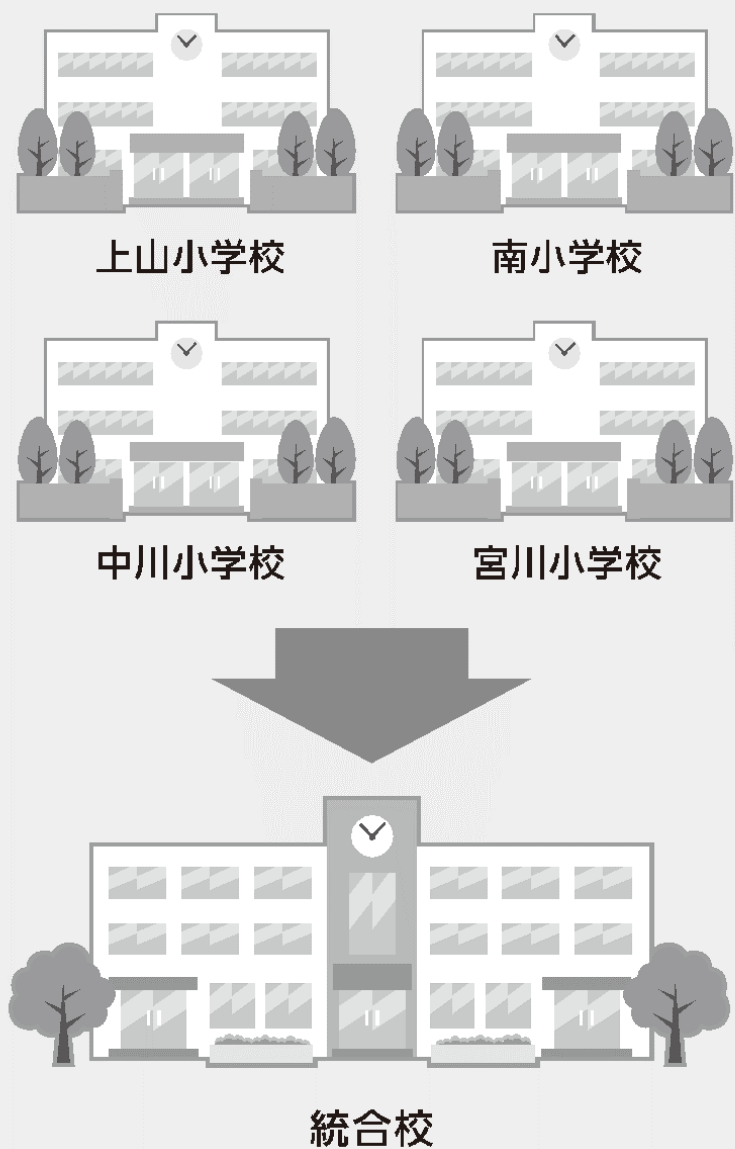
小学校 1 校案

特 徴

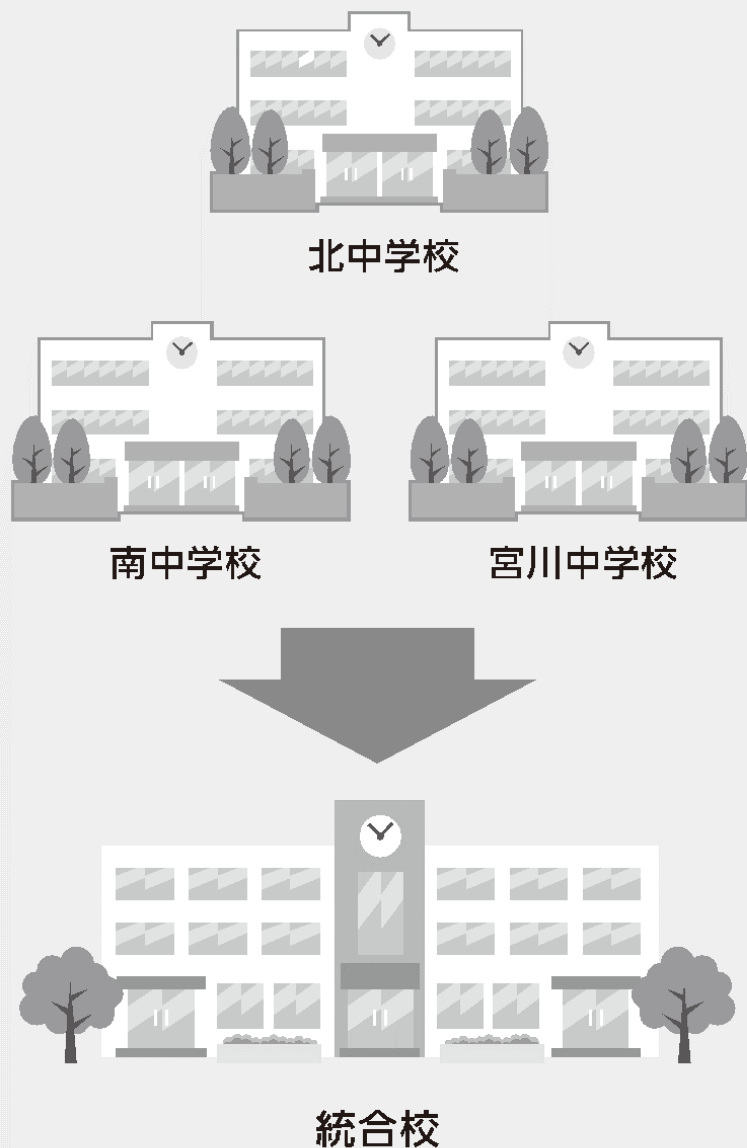
- ・ 投資を集中し、充実した設備環境に。
- ・ 市民ニーズである各学年 3 学級、1 学級 25 人程度を確保できる。

検討委員会の意見

- ・ 児童数から最終的な 1 校統合は明らか。
- ・ 2 校統合案も時間と労力がかかる。
- ・ 問題・保護者負担を、先送りせず最初から 1 校に統合すべき。
- ・ 小中学校併設の 1 校を新設した方が良い。
- ・ 小中一貫教育を実現して欲しい。
- ・ 2 校案は、各学年 3 学級、1 学級 25 人程度の市民ニーズを満たせない。



中学校 1 校案



特 徴

- ・投資を集中し、充実した設備環境に。
- ・市民ニーズである各学年3学級、1学級25人程度を確保できる。

検討委員会の意見

■一定規模の集団の必要性

- ・教育と学校生活の質の確保。
- ・多様な人間関係に基づく社会性の育成。
- ・選択肢のある集団活動。
- ・教科担任確保のため、1学年3学級以上は必要。

■学校の老朽化

- ・築後50～60年経過。老朽化が著しい。
- ・修繕など費用対効果を考え、新設すべき。

統合時に配慮すべき事

検討委員会の意見

- ・ 安全・安心な通学方法と経路
- ・ 関係者周知と合意形成・不安解消
- ・ 小規模校の子どもへの支援 ▶ 事前交流
- ・ 地域学習カリキュラムの充実
- ・ 教職員の指導体制の確保 など



今後の予定

市民説明会の意見



協議

上山市みらいの学校構想検討委員会



令和7年度 市教育委員会へ答申

上山市みらいの学校構想



令和8年度 市が構想の具体化を推進

意見交換

ご意見・ご質問をお願いします。

1 説明会の感想

2 小・中学校の統廃合（案）